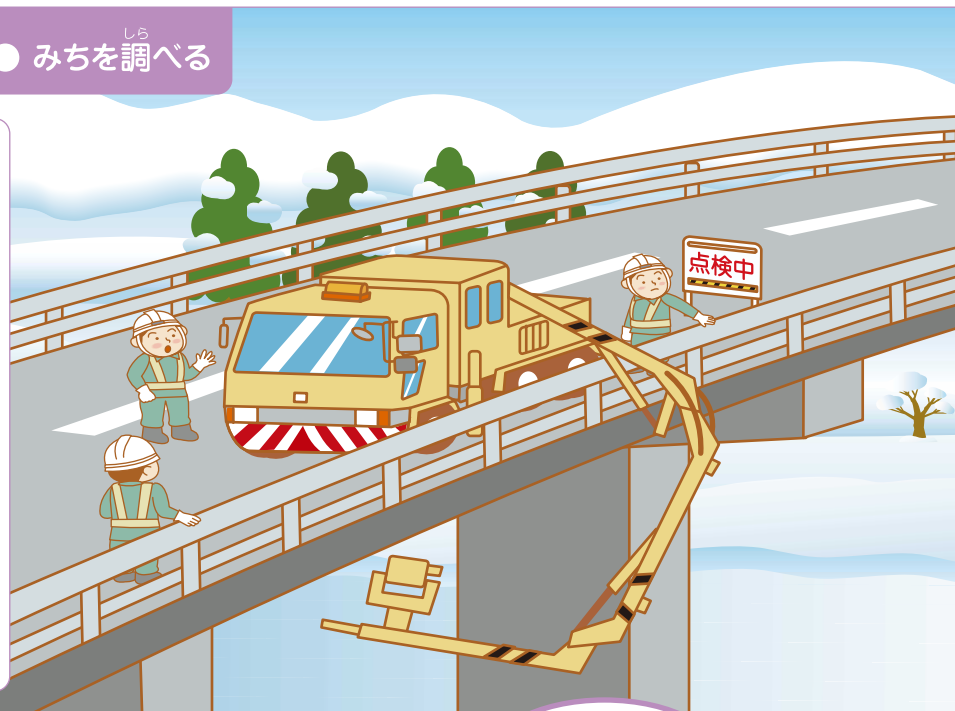


パトロールカー発見! ● みを調べる

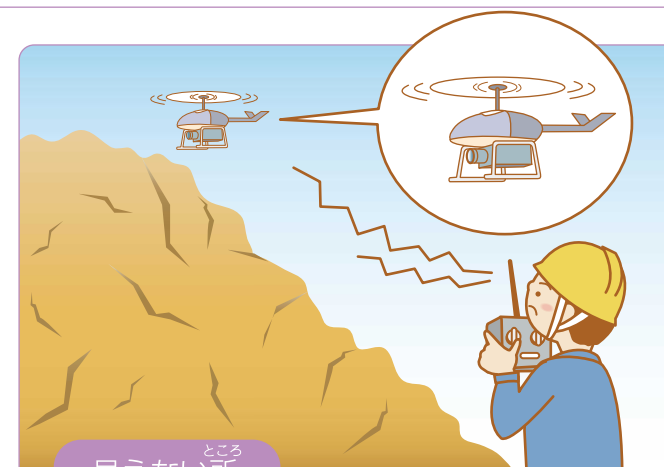
見える所と見えない所

『みち』には、人が見ることができない所があります。たとえば橋の下を調べるには、クレーンカメラを積んだ車が必要です。見える所も毎日、人の目でチェックして記録することが大切なのです。



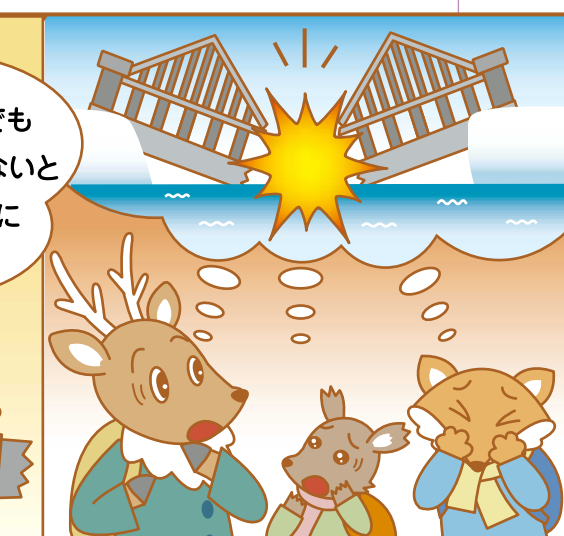
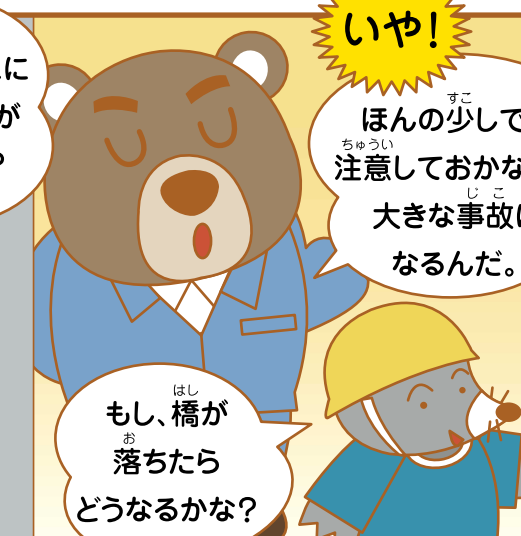
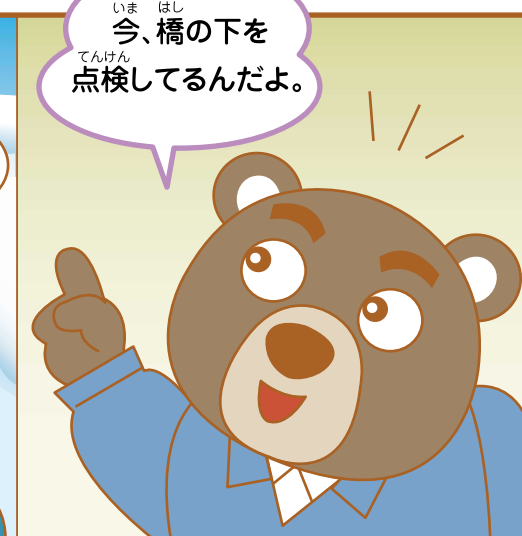
見える所

人が確認できる所も、注意しないと異常に気づかず、それが大きな事故になることがあるので、毎日の点検が必要です。



見えない所

人が登ることのできない急な斜面や、危険ながけなどは、カメラを積んだラジコンのヘリコプターで点検します。



道路の維持作業

道路は、機能の低下を防ぐために常に維持作業を行っています。主な作業はパトロール、日常作業、点検、補修作業です。※パトロールは通常、夜間、定期および異常時に行われ、積雪寒冷地域においては雪氷パトロールが行われています。

通常パトロール

平常時におけるパトロールで、計画的にパトロール車から視認できる範囲の道路の状況、交通の状況等を把握します。

夜間巡回

夜間における交通の安全を確保するためのパトロールで道路照明、標識等の夜間における視認性を点検します。

定期巡回

主として道路構造の保全を図るためのパトロールで、構造物の細部点検を行います。

異常時巡回

台風、集中豪雨、豪雪時または地震その他道路交通に支障を与えるおそれのある状況が発生した時に実施します。危険が予測される箇所の点検および災害の実態等の把握を行うとともに必要な情報連絡を行います。

雪氷巡回

降雪状況および路面凍結の状況を把握し、除雪の開始時期、除雪工法の判断および凍結防止剤の散布等を適切に実施するためにいきます。

通常および夜間のパトロールは、見える範囲の路面、橋梁、トンネル、法面、街路樹、標識、安全施設等について行います。定期パトロールでは橋梁や法面崩落など余り見えない部分の点検を行っています。

道路は、日常のきめ細かな維持作業により、

安全確実に利用することができます。主な日常作業は、綿密な計画の基に、除雪、路面補修、道路清掃、街路樹剪定、安全施設補修、草刈りや障害となる樹木の伐採、不法占有物件の除去などです。



道路の維持修繕

道路管理には、道路に関する工事、行為等すべてを含むものと考えられます。維持修繕および災害復旧の具体的内容については道路法に規定されていますが、たとえば道路の巡回・点検や道路情報の収集・伝達等の具体的な方法は規定されていません。しかし、これらは道路管理の前提となり、必然的に派生するもので範疇に含まれるものと考えられます。「維持」と「修繕」との区分は明確ではありませんが、次のように区分しています。

維持

道路の機能を保持するために行われる道路の保存行為であって、一般に日常計画的に反覆して行われる手入れ、または軽度な修理を指します。日常計画的に反覆して行われる手入れとは路面清掃、散水、除草、除雪、舗装目地の旗充等であり、軽度な修理とは舗装のパッチング。

表面処理、街路樹の補植等在来施設の機能を特に高めない範囲の修理を指します。

修繕

日常の手入れでは及ばない程大きくなった損傷部分の修理および施設の更新を指します。修繕とは大規模な修理であり、在来施設の機能を、当初築造された時の機能まで回復させ(または近づけ)、あるいは若干の機能増を伴う場合までを含みます。また、老朽化、陳腐化したことによる更新も修繕に含まれます。

補修

維持と修繕を明確にしない場合は補修と表現します。

日常作業

舗装が壊れたり、路面上の落下物、標識が見えなくなるなど通行の障害になりそうなこ

ろを発見したなら、まず安全に通行ができるように、これから交通を規制することを標識等で知らせてから作業に入ります。

維持作業の規制は、道路により安全性と交通の定時性の確保および二次的影響も異なるので、交通量の実態と道路種別を考慮し、より安全な方法で実施します。補修作業より安全対策費が数倍高く、速度と交通量により安全対策は大きく異なります。

- 除雪／路面の雪を除雪したり、凍結防止剤を散布する作業
- 路面補修／路面の亀裂や穴を処理する作業
- 道路清掃／路面に散乱した塵芥を除去する作業
- 街路樹剪定／街路樹の剪定や手入れ作業
- 草刈り／路側や法面に繁茂した草木の処理作業
- 安全施設／安全施設の手入れや補修作業